

# FORVAL



## ESG経営 & 新オフィス特集

*special interview*

@仙台オフィス『きづなPARK TX』

By 環境会議所東北インターン生

# 目次

## Topic 01

フォーバルのESG経営とは？

環境だけじゃない！人的資本への投資  
学生と地域をつなぐ取り組み

## Topic 02

次世代ESGオフィス見学！

## Topic 03

編集後記

今回お話を伺ったのは...

株式会社フォーバル

東北支社長

松下 伸一さん

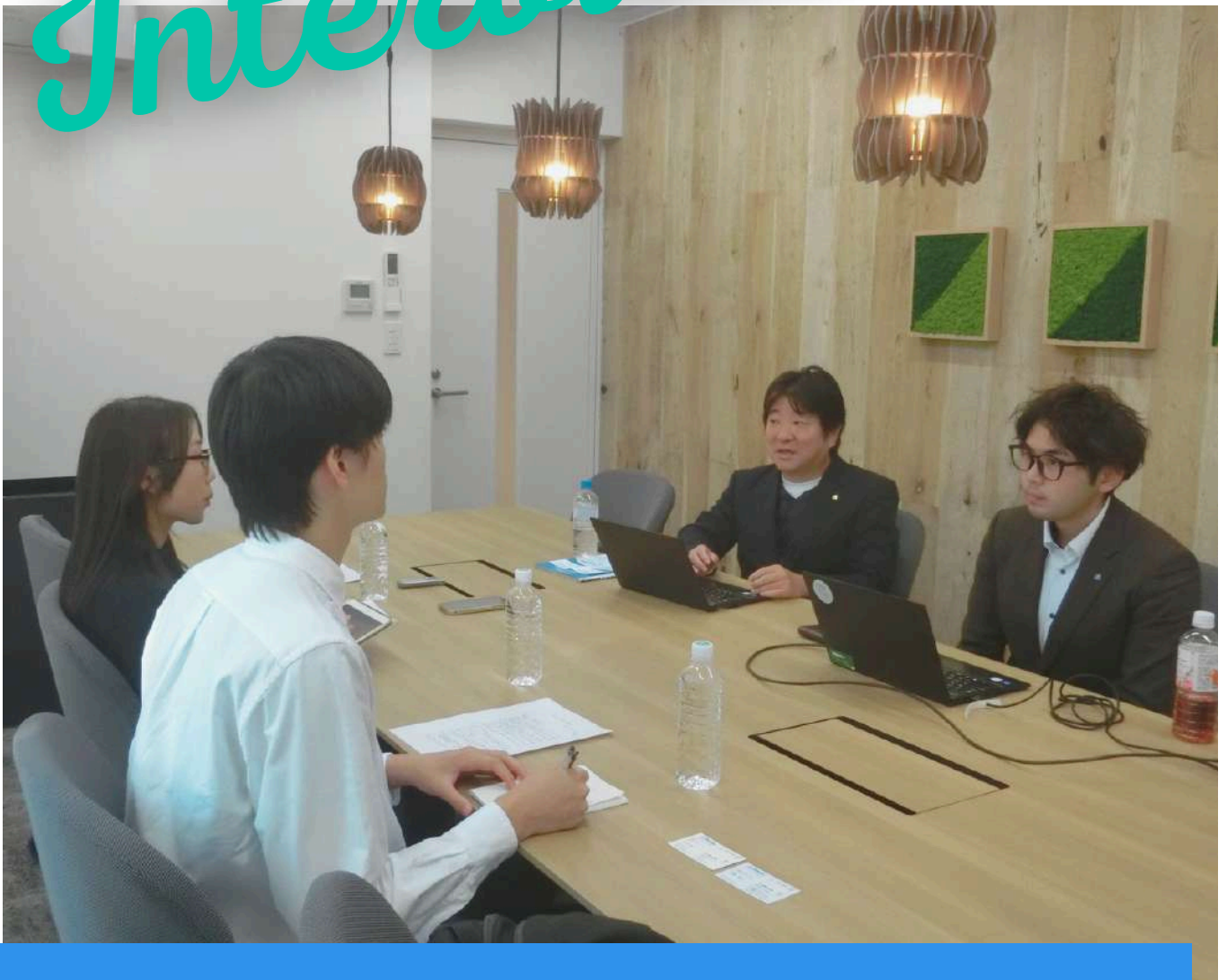
北海道・東北カンパニー 仙台支店第二アイコン課

高橋 奏太さん



(左から)松下さん、高橋さん、環境会議所取材者3名

# company Interview



フォーバルのESG経営とは？

お話を伺いました！



# 常にアップデートしていくESG経営

株式会社フォーバルは、中小企業の“次世代経営コンサルティング”と”ICT支援”を手がける成長型企业です。これらの事業を通して地域企業のESGを推進するとともに、自社自身も様々なESGの取り組みを実施し、持続的な発展を目指しています。

このようなESG推進の根底にあるのは、企業の究極目標を「**永続**」とする考え方です。もちろん、企業が存続するためには利益を上げなければなりません、あくまでも利益は企業永続のための手段であり、目的ではないという強い信念を掲げています。

そして、財務的な「いい会社」である前に、まず顧客や社員から「この会社はいい会社だ」と評価され、「**ありがとう**」の言葉が集まる「いい会社」を目指しています。

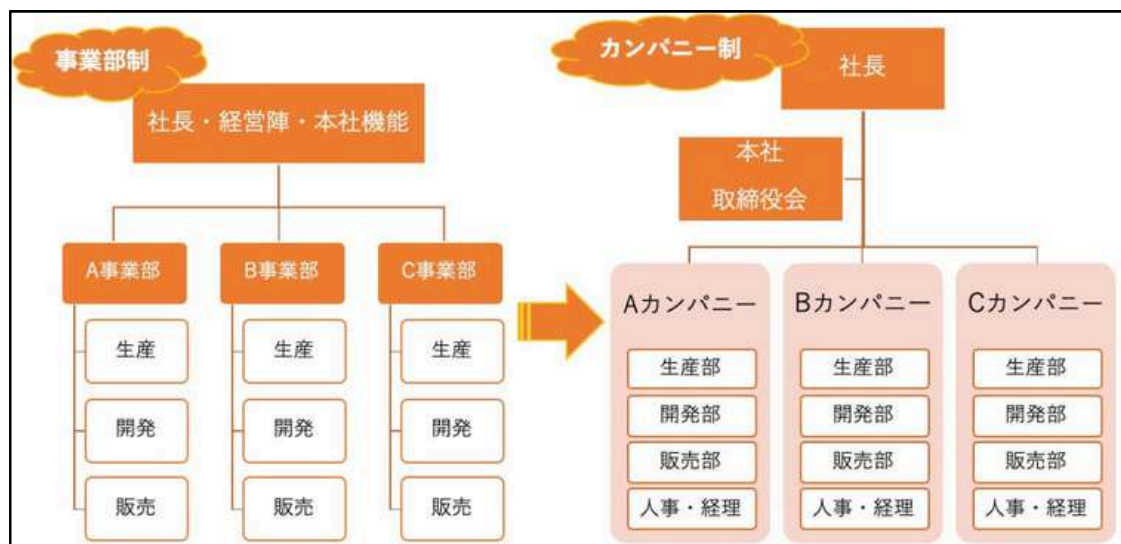
2024年4月には、東北にESGオフィスを新設したり（p.9より特集）、2025年度からはカンパニー制を導入したりするなど、会社全体としてさらなる変革をし続けています。



インタビューの様子

## カンパニー制とは？

カンパニー制と事業部制の違い



カンパニー制とは、社内の事業を独立した1つの会社のように扱う組織形態のことです。人事権や重要な経営判断をする権限が付与され、実質的な経営が可能です。一方で、大企業における一般的な組織形態である事業部制では、本社がそれらの権限を持っています。

メリットとして、意思決定のスピードが上がり、カンパニーごとの結束力が高まることが挙げられ、それによる収益力の向上や事業の効率化が期待されます。

## ESG経営に関するQ&A

Q. 環境分野のコンサルティングというと、少しイメージがつきづらいのですが、具体的にどのようなことをされているのでしょうか？

A. 「**実践型コンサルティング**」という、実際に弊社で有効だったり、他社で効果が発揮されたりした取組みや、世の中の流れを踏襲したうえでのより良い改善策をお客様に提供しています。

環境分野では非財務項目として、現状の取組みをフォーバル独自のシステムを活用して可視化し、業界比での立ち位置を把握して、どのように点数や見られ方を変えていくかを協議しながら実践していきます。

Q. 東北地域の環境コンサルティングについて、他地域と比較した違い（達成度や意識、課題など）はありますか？

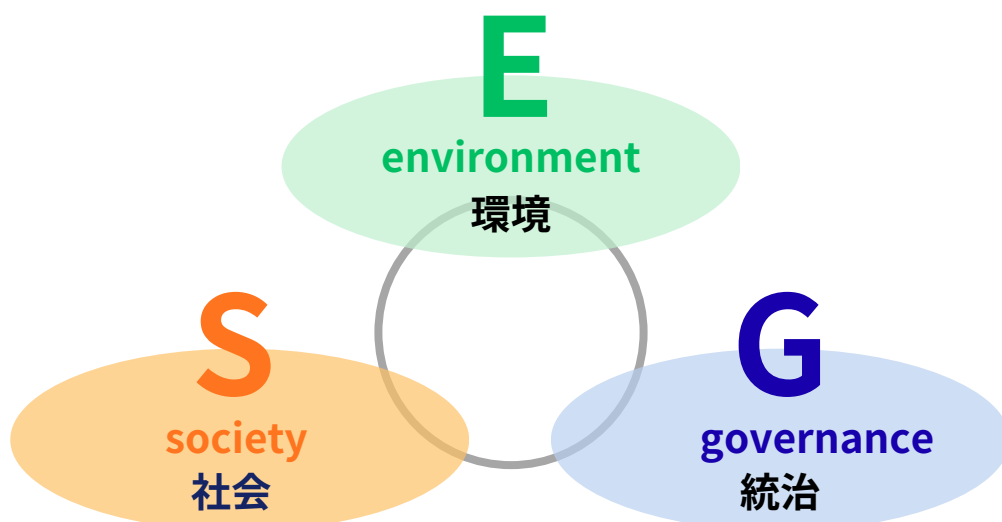
A. 一つの見方として「**ESG推進宣言**」という認証制度が参考になります。2024年12月段階で全国115社が取得したうち、東北では11社の企業が認証取得をされていました。拠点ごとにマーケットの違いはありますが、それでもこの数値は多いとは言い難いです。これを踏まえると、やはり全体としての意識や認知がまだまだ足りていないので、実践から周知活動を引き続き実施し、認知度を高めていきたいです。

Q. ここ数年で、お客様のESG経営や環境経営に対する考え方が変化しているように感じますか？

A. 黎明期だと感じています。特に建設関係の企業では環境への取組みによる入札時の加点や、取引先から求められるケースも散見されることから、業界によって差が出始めているように感じています。ESGも環境経営も、一朝一夕に効果が出るわけではありません。数年先を考えた経営を念頭に啓蒙および支援をしていきます。

Q. 従業員の環境意識を高めるのは、一般的に難しいところだと思います。その課題に対して意識的に取り組んでいることはありますか？

A. フォーバルの社員の多くが世の中の動きを自分事として捉え、今後必要になるものを適切にお客様にお伝えすることを大事にしています。旧態依然のトップダウン式ではなく、**ボトムアップ**という形で若手からの環境情報の発信や市の環境の取組みの旗振りを実施するなど、自然と環境が形成されているように感じています。



# 環境だけじゃない！人的資本投資によるESG経営

株式会社フォーバルのESGへの取り組みは、環境コンサルティングをはじめとしたE：Environment（環境）分野にとどまりません。ESGのS：Social（社会）の面から人的資本経営にも注力し、2023年12月1日、**国内7社目**となる人的資本の情報開示に関する国際的ガイドライン「**ISO 30414**」の認証を取得しました。

人的資本経営とは、『人材に投じる資金を価値創造に向けた「**投資**」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方』であり、これから中小・小規模企業の成長において重要事項となっていくます。

フォーバルでは、お客様の人的資本経営を支援するため、まず自社が率先して人的資本について学び、グループに所属する5名が「ISO 30414リードコンサルタント/アセッサー」認証を取得しました。

正しい知識と適切なアドバイスをすることで、大企業だけでなく、中小・小規模企業も人的資本経営でマーケットに「選ばれる企業」になれるように導びくことを目指しています。

また、従業員の強みを最大限に活かし、非財務の企業価値を持つ「魅力ある企業」のイメージを社内外に広め、企業価値の向上に貢献していきます。



フォーバルの人的資本に関する取り組みの詳細はこちら↓  
**「Human Capital Report 2023」**

[https://www.forval.co.jp/pdf/HumanCapitalReport\\_2023.pdf](https://www.forval.co.jp/pdf/HumanCapitalReport_2023.pdf)

## ISO30414とは？

2018年にISO（国際標準化機構）が発表した、人的資本報告（Human Capital Reporting, HCR）のガイドラインです。自社の人的資本に関する情報を、社内外のステークホルダーに向けてどのように開示すべきかの指針が11項目58指標で紹介されています。

認定を取得することで、投資家は人的資本情報を定量、定性の両面から把握でき、これまで以上に適正な評価をすることが可能になります。企業の透明性向上やESG投資への対応が求められる中、ISO30414の重要性が増しています。



## 学生と地域をつなぐ

DXやESGの伴走支援による地方創生の実現に向け、教育機関とも連携し、地域の学生の人材育成に取り組んでいます。現在、全国で14の大学と連携協定を締結し、フィールドラーニング型の演習や、ゼミ内の特別講座を開催しています。

2024年度時点で約4000名もの学生が受講しており、このような地元の学生へのアプローチが、中長期的な地域の活性化につながることを期待されています。

### 教育機関 × フォーバル

地域創生のための人材育成に向け

**14**の教育機関と連携協定を締結！

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ・iU大学       | ・長崎国際大学     |
| ・皇學館大学      | ・札幌大谷大学     |
| ・九州共立大学     | ・文京学院大学     |
| ・國學院大學      | ・ハリウッド大学院大学 |
| ・岐阜大学       | ・明星大学       |
| ・香川大学大学院    | ・二松学舎大学     |
| ・仙台青葉学院短期大学 |             |
| ・大正大学       |             |

[https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/pdf/11\\_hosoku.pdf](https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/pdf/11_hosoku.pdf)

(最終閲覧：2026/1/20)

### フォーバルのインターンシップ

フォーバルは、自社のインターンシップを通して、学生と地方の中小企業をつなぐ取り組みを行っています。

実際にお客様である企業先に同行し、業務を体験することで、フォーバルの業務についての理解が深まると同時に、今まで知らなかった地元企業の魅力に気づくきっかけとなります。

**興味がある方は、  
ぜひ参加してみてください！**

**株式会社フォーバル**

「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

**株式会社フォーバルって何する会社なの？**

国内法人企業数の99.7%を占める中小企業を中心に、お客様の利益向上に貢献するため、経営者の方々からの経営に関するお悩みを伺い解決するコンサルティングを行っています。  
「売上拡大」「業務効率改善」「リスク回避」などの観点から、月1回の定期訪問にて、伴走型でのコンサルティングを実施しています！

**インターンシップの内容は？**

**5daysインターンシップ**  
～社員と同じ環境で5日間の業務体験ができる！！～

- ・お客様先への現場同行 ・新規顧客獲得に向けた営業施策体験
- ・業界の市場調査レポート作成
- ・作成資料をコンサル社員相手にプレゼンテーション(FB有)
- ・就職活動の相談やキャリア相談も可能 ※ランチ代・交通費支給あり(規定有)

まずは、改めてWeb説明会にご参加いただきたく、  
右記QRコードより公式LINEにご登録のうえ、説明会予約をお願いいたします！

**困った時のお問い合わせ先は？**

お問い合わせ先：株式会社フォーバル グループ人材戦略統括部人事課 横山  
電話番号：080-3523-0052 / メールアドレス：recruit@forval.co.jp



renewal

# Office tour



## 環境配慮型の次世代ESGオフィス

社用の電気自動車やハイブリッド車

仙台オフィス所在地：

宮城県仙台市青葉区通町2-15-1  
きづなPARK TX



2階のバルコニーから見える太陽光パネル

## 次世代ESGオフィス！どこがすごいのか？？

移転前はテナントビルの一角に構えていた仙台オフィス。2024年4月、環境配慮型の新オフィスが開設されました。

新オフィスは、サステナビリティを実現するための工夫を凝らして設計され、建築物として、BELSの5つ星を取得するとともに、Nearly ZEBを達成しています。

また、フォーバル東北支社として、2023年度のCO<sub>2</sub>排出量が13.9tだったのに対し、**2024年度は1.9t**と大幅な削減に成功しました。その結果、2024年、日経ニューオフィス賞の東北ニューオフィス推進賞を受賞するなど、国内で非常に高い評価を受けています。そして、建設に携わった積水ハウス様のモデルハウスのような形で、全国の積水ハウス様の従業員をはじめ、年間で400名もの方が見学しにオフィスを訪れました。

現在は、2030年までのCO<sub>2</sub>排出量0実現を課題に取り組まれています。

また、このオフィスの設計にあたり、より働きやすい職場環境になるよう、社員の希望も取り入れられています。コロナが明けて「出社回帰」が進む中で、職場環境に対する満足度が高まり、生産性の向上につながることを期待されます。



受賞された表彰状や盾が沢山



# ZEB（net Zero Energy Building）、Nearly ZEBとは？

日本における建物の省エネルギー性能を表示する第三者認証制度です。BELSは、建物の省エネルギー性能を一次エネルギー消費量や外皮性能などの指標に基づいて数値化し、5段階（星の数）で評価します。星が多いほど省エネルギー性能が高いことを示します。

Z最高ランクの5つ星の水準のためには、一次エネルギー消費量基準値に対し、40%（事務所・学校・工場など）あるいは30%（ホテル・病院・百貨店・飲食店・集会所など）の削減が必須です。

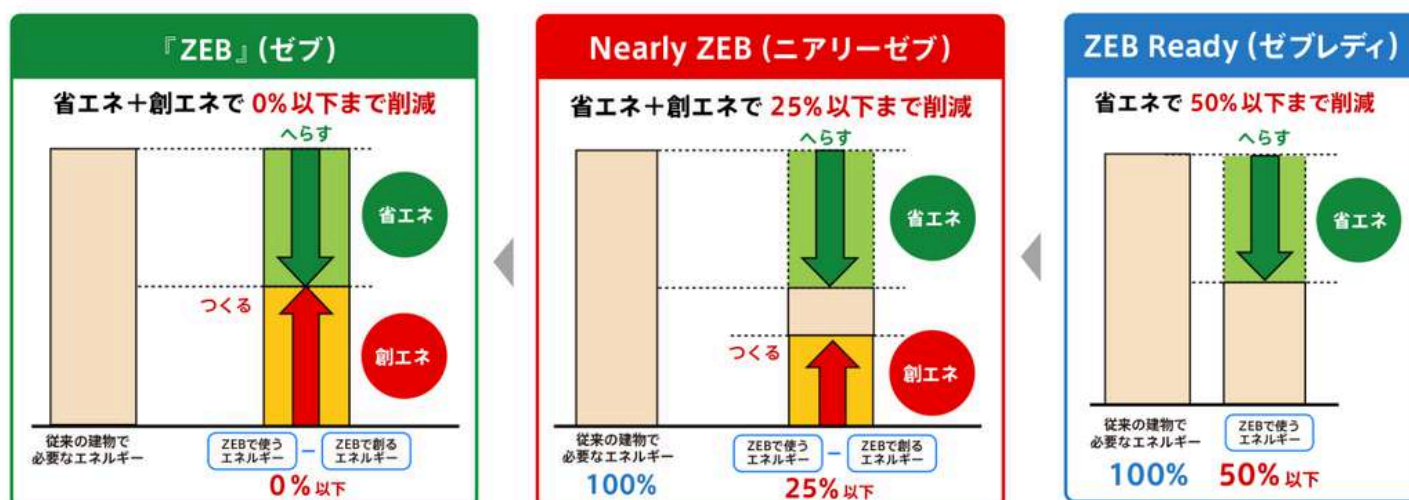


仙台オフィスに飾られているBELS5つ星認定の盾

## BELS（Z建築物省エネルギー性能表示制度）とは？

ZEB認証とは、BELSの最高ランク（5つ星）を獲得した上で、さらに厳しい基準を満たす建築物に与えられる認証です。

Nealy ZEBとは、ZEBに限りなく近い建築物として、ZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建築物のことを指します。



環境省「ZEB PORTAL」  
(最終閲覧：2026/1/20)

<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html>



## 新オフィスに関するQ&A

Q. 現在ESGオフィスは他企業のモデルロールになっていますが、建設の際にモデルにしていた建物や取り組みはありましたか？

A. 特にありません。当社のESG経営への強いコミットメント、「**社会が求める真の価値**」を追求するというミッションに合致するよう、積水ハウス様と綿密な協議を重ね、アイデアを出し合いながら設計計画を進めました。内装は、グループ会社であるFRS社を通じ、環境負荷の少ない什器（じゅうき）を選定しています。

Q. ESGオフィスの実現にあたり、Nealy ZEBの達成でチャレンジだった点はありましたか？

A. **太陽光パネルの効率的な設置**を可能にする建築設計の工夫と、発電状況をリアルタイムで「**見える化**」する**システム**の導入に注力しました。これらは、エネルギー効率の最大化と持続可能なオフィス環境の実現に向けた、重要な挑戦であると認識しています。

Q. 新オフィスデザインの工夫について、特に力を入れた部分や、好評の声が多いポイントは何ですか？

A. 完全な**フリーアドレス**（以前から導入）と、**緑視率**を意識したオフィスのカラーリングによる生産性向上を目的とした設計です。

## 働きやすい環境づくり



気分に合わせて様々なタイプのデスクで仕事ができる。  
半個室（左）や昇降式（右）

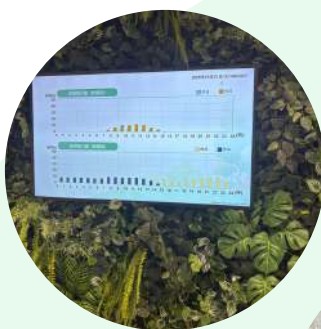


他の社員の場所（オフィス内）をリアルタイムで把握できる。



ポータブルのバッテリーで、  
どこでも作業しやすい環境に。

## 緑あふれるオフィス



### TERRA MOSS（テラモス）



北欧に自生する「コケ」を採取し、カラーリングを施したディスプレイ製品。メンテナンスフリー、空気清浄、湿度調整、騒音低減そして難燃性といった様々な環境に優しい機能を持つ。

緑に囲まれる電子パネル（左上）  
TERA MOSS（中央）  
緑のカーペット（右上）

## リユース、リサイクル材のインテリア

全然気づかない！？オフィスで実際に使用されている、  
おしゃれでサステナブルなインテリア製品をご紹介します！



りんごの搾りかすなどでできたレザーのクッション



使用済みの投網を再利用した椅子



脱臭効果を目的としたコーヒーの豆かすを入れた壁面



使われなくなったテレビのブラウン管などを再利用したタイル



リユース材で作られた照明  
陶器（左）、竹（中央）、段ボール（右）



## その他にも様々な工夫が



エントランスに設置されたモニター。  
オフィス内の電力使用量や発電量も確認できる。



タニタの健康測定器



寄付機能付きの自動販売機。  
カンボジアの子供たちの教育  
支援に使われる。



97%再利用でできたLED照明。

照明1本で2本分の明るさがあり、  
利用電力の削減につながる。また、  
紫外線も発せられており、殺菌効果  
も併せ持つ。

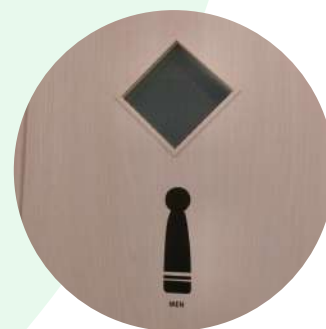


AED



防災グッズが格納されているイス

## 東北由来のオフィスデザイン



トイレのデザインがこけし  
(左) 女性、(右) 男性

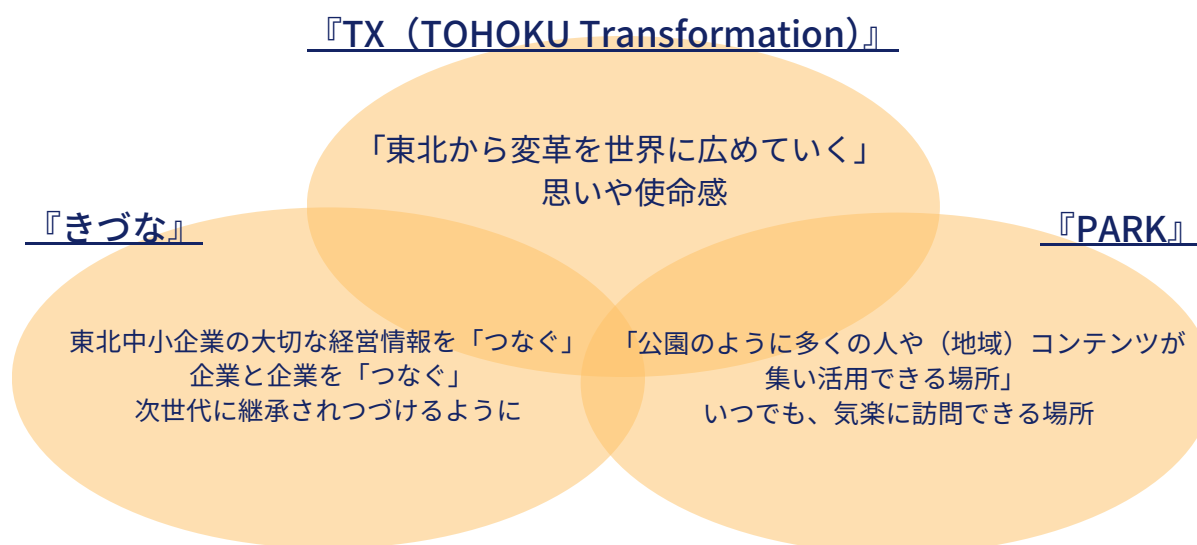
東北にゆかりのある植物が部屋の名前に  
(上) サクランボ、(下) 南部アカマツ

**フォーバル仙台オフィスは、ESGオフィスツアーを行っています。ぜひ皆さんも体感してみてください！**

【お申込はこちらから】 ↓

[https://form.k3r.jp/forval\\_tohoku/tohokunewofficetours](https://form.k3r.jp/forval_tohoku/tohokunewofficetours)

### 新社屋名『きづなPARK TX』に込められた思い



～地元の中小企業と世界をつなぐ架け橋に～

# 編集後記

環境会議所東北 インターン生 高屋映里

今までは、環境への取り組みは企業の利益に繋がりづらいイメージがあったのですが、フォーバル様への取材を通して、むしろ企業や社会全体をより良くしていることを実感しました。昨今、環境経営やESG経営は、大企業だけでなく中小企業でも当たり前求められる世の中へと変化しており、それらに取り組むことが、持続可能な組織の維持につながることを学びました。

また、実際にオフィスを見学し、まさにESGを可視化するような、理想的なオフィスだと感じました。再生可能エネルギーの利用やリユース材の利用など環境配慮の要素が詰まっているのはもちろんのこと、社内のDX化や、社員の希望が取り入れられた設計など、社員が働きやすい職場環境が整備されていました。私もこんな職場で働いてみたい！と憧れます。

これらの学びや体験をきっかけに、今後も環境経営やESGについての理解を深めていきたいです！



消費電力0Wの電子ボード



今回の取材では、株式会社フォーバル様を訪問し、コンサルタントという業務がどのように環境と結びついているかを学ぶ機会となりました。オフィスを訪れて印象的だったのは、リユース材やリサイクル材を活用したインテリアが至る所に配置されていた点です。それぞれのインテリアにはストーリー性が感じられ、単なる環境配慮にとどまらず、働く人が愛着を持ちやすい職場づくりにつながっているように感じます。

これまで私は、ESGの「環境 (Environment)」というと、CO<sub>2</sub>排出量の削減などといった取り組みを主にイメージしていました。しかし今回の取材を通じて、働く人も職場という環境の中にいて、その環境を整備することも大切であると感じました。働く人を大切にする姿勢こそが、株式会社フォーバル様のESGへの取り組みの根幹にあるのだと思います。

最後に、今回快くインタビューとオフィス見学を受け入れてくださった、株式会社フォーバルの松下様と高橋様には、この場を借りて感謝を申し上げます。作成したこちらのパンフレットが、フォーバル様のESGへの取り組みを知るきっかけの一助となれば幸いです。